

関西大学 SDGs パートナー登録団体一覧（五十音順）

2021年10月登録

NO.	団体名	SDGs への取組概要	目指すゴール
1	エネラボ株式会社	<p>当社はエナジーサプライ株式会社、岡山電力株式会社とグループとなります。</p> <p>再生可能エネルギー事業を現在推進しています。</p> <p>CO2 の出ない電気の供給を行っています。</p> <p>また、電気代の一部が社会貢献活動に繋がる電気のサービスも実施しています。</p>	
2	クリエイトグループ クリエイト株式会社 ダイドレ株式会社	<p>企業理念「快適な住環境を提供し、豊かな暮らしづくりに貢献する」を実践することにより、社会のサステナビリティ（＝持続可能）な発展に貢献しています。</p> <p>ダイドレ社製 Tosk Remake Cover では従来のグレーチングカバーに代わる天然石を特殊樹脂で固めた透水化粧ふたを開発、広めることにより足元から安全・安心な街造りを目指しています。</p> <p>また関西大学×法政大学「SDGs アクションプラン コンテストー持続可能な未来のために私たちができることー」へ協賛しています。</p> <p>その他「安全・安心で、働きがいのある働きやすい健康的な職場づくり」を掲げ各種施策を推進しています。</p>	
3	公益財団法人 太平洋人材交流センター(PREX)	<p>途上国の発展を支える人材育成と、人材育成事業を通じた国際的な人材交流を目的に設立され2020年4月で30周年を迎えたPREXは、誰もが生き生きと暮らすことができる『持続可能な社会』を目指し、10年後にPREXが達成したい世界、目指す姿として「PREX ビジョン 2030」を策定しました。</p> <p>途上国の行政官や経営者、海外からの留学生や日本企業で働く外国人社員などを対象とする研修事業だけでなく、職員自身の働きがいのある職場づくりを通じた価値を提供し、関係団体と連携しながらSDGs達成に貢献します。</p> <p>※PREX内に2019年、SDGs推進チームを設置</p>	
4	株式会社 Direct Stock Japan	<p>弊社では、国内で古くなり需要の無くなった廃車予定のハイエースを買取し、それを必要としている東アフリカを中心とする発展途上国に輸出しています。</p> <p>途上国では日本から輸入したハイエースが主に乗り合いバスとしてリユースされており、市民のライフラインとして活躍しています。しかし、10年</p>	

		<p>程前からインターネットの普及に伴って、日本国内の中古車の輸出業者が急増しており、過度の価格競争によって、故障を隠して粗悪車を輸出する業者も増えて来ています。輸出先の人々は当然返品が出来ません。しかも彼らにとって車一台は、人生を左右するほど大きな買い物であり、粗悪車をつかまされる事で、彼らの人生はとてつもなく大きなリスクを負う事になります。</p> <p>弊社では、他の輸出業者とは異なり、仕入れを業者間オークションで行うのではなく、国内のエンドユーザーから行っています。これにより状態の良いハイエースを適正な価格で輸出することが出来るようになり、その結果彼らのビジネスを間接的に支援することができていると考えています。</p> <p>しかしながら、これまでバイヤーからの大きなクレームは無いものの、実際に輸出したハイエースが具体的にどのような活躍をしているかを検証したことはありません。今後弊社における SDGs の取り組みをより良いものにするためにも、この検証が今後の課題と言えます。</p>	
5	株式会社 日刊スポーツ新聞 西日本	<p>日刊スポーツ新聞西日本は、「やりがいがある、この会社で働いて良かったと思える会社」を目指しています。また、会社のあるべき姿として「潤いのある生活、豊かな人生に、インターネット、新聞の情報発信を通じて社会に貢献できる会社」でありたいと願っています。それを実現するため、22年4月より、SDGsに取り組む企業を連載していく予定です。</p>	
6	株式会社 日立システムズ 関西支社	<p>これまで日立グループの一員として ICT 技術を活用したソリューションのご提供を通し、社会に貢献してきました。具体例としては、ICT 技術を活用した属人化業務の撤廃、業務標準化による持続可能なシステム環境の実現や、製品製造や在庫などの需要予測を通した製品廃棄ロスの削減などに取り組んできました。</p>	